

ピアスの説明・同意書

ピアッサーを使う場合：

【処置の方法】

消毒の後、JPSのピアッサーでピアスを取り付けます。局所麻酔は不要です。

※ ピアスを開ける場所によってはお断りする場合があります。

【料金について】

ピアス1ヶ所 3500円(税込)

ピアス2ヶ所 5000円(税込)

3ヶ所以上を希望される場合には、**1ヶ所につき1500円(税込)**の追加です。

上記料金は、ピアスと諸費用(手技料、処置後の抗生剤)を含みます。

持ち込みのピアスを使う場合：

【処置の方法】

消毒の後、局所麻酔をしながら注射針を利用してピアスホールを開けて、ピアスを装着します。

※ ピアスの形によっては対応できない場合があります。

※ ピアスを開ける場所によってはお断りする場合があります。

【料金について】

ピアス1～2ヶ所 5000円(税込)

3ヶ所以上を希望される場合には、**1ヶ所につき1500円(税込)**の追加です。

上記料金はピアスは含まれません。必要な個数をご自分でご用意下さい。

【処置の合併症について】

ピアスでは正常な皮膚に穴を開けますので、以下のような合併症が考えられます。

- ・出血、血腫形成：組織を傷つけるので出血し、血液のたまり（血腫）を形成する可能性があります。**出血しやすい疾患がある方は、処置は受けられません。**
- ・ショック：疼痛による反射で一時的なショック（急な血圧の低下、失神など）を起こす可能性があります。
- ・処置薬による副作用：処置に使用する薬剤（局所麻酔薬や抗生物質）による副作用が考えられます。薬によるアレルギー、ショック、薬疹、肝・腎障害など。

アレルギーがある人は、必ず事前に申し出てください

【処置後の合併症について】

様々な原因により、以下の合併症が起こり得ます。

- ・感染、化膿、膿瘍形成：処置の際は十分に消毒を行いますが、それでも化膿を起こす可能性があります。また、自分で日々の処置を行う際にピアスホールを傷つけて化膿することが起こり得ます。化膿がひどくなると膿瘍（膿の溜まり）を作り、赤く腫れ上がります。糖尿病がある方は化膿しやすいので、特に十分な注意が必要です。
 - ・金属アレルギー：金属が肌に合わないと、赤く腫れて皮膚炎を起こします。24金やチタン、セラミックスならアレルギーを起こす可能性は低くなります。
 - ・抗生物質による副作用：アレルギー、薬疹、肝・腎障害など。
 - ・ケロイド、肥厚性瘢痕：傷が治る際に、盛り上がってしまうことです。
- その他、ピアスの埋没、ピアスホールが裂ける、ピアスホールの閉鎖など。

上記の内容を理解した上で、処置を受ける事に「同意する」場合には、署名をしてください。

- ・ピアスの処置を希望し、自己の責任に於いて処置を受ける事に同意する。

日付 _____ 署名（自署・親権者） _____